

令和４年度碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会次第

日時 令和４年８月５日（金）

午前１０時から午前１１時３０分まで

場所 碧南市役所２階 会議室３

１ あいさつ

２ 議題

（１）令和３年度事業報告及び収支決算について

（２）令和４年度事業計画及び収支予算について

（３）その他

碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会委員

	区分	選出団体名等	氏名	役職名
1	市職員	碧南市副市長	金沢 宏治	委員長
2	学識経験を有する者 (市長が必要と認める者)	東海税理士会刈谷支部副支部長	伴野 義雄	
3		日本福祉大学教授	青木 聖久	
4	各種団体を代表する者 (市民の代表)	碧南市民生委員児童委員協議会代表	鳥居 隆幸	
5		N P O 法人ゆるりん理事長	磯貝 厚子	
6	一般公募 (市民の代表)		坂部 泰	
7	市職員	碧南市経営企画課長	杉浦 英樹	

任期：令和２年７月１日から令和５年６月３０日まで

事務局等

1	事務局	福祉こども部長	深津 広明
2		福祉課長	山本 貴史
3		福祉課社会福祉係長	河原 睦
4	碧南ふれあい作業所	碧南ふれあい作業所所長	小澤 祐佳里
5		社会福祉法人WH J 理事長	竹内 涼
6		社会福祉法人WH J 法人本部経理部長	熊本 直孝

令和 3 年度 碧南ふれあい作業所 事業報告書

1. 施設概要

施設種別	生活介護事業（通所）
事業所番号	2 3 1 3 2 0 0 0 2 0
所在地	碧南市中山町 1 丁目 1 6 番地 1
事業開始日	平成 8 年 7 月 1 日
障がい種別	特定なし
定員	6 0 名
開所日/時間	月曜日～金曜日 9:00～16:00

2. 登録市町村

碧南市

3. 契約者の状況(令和 4 年 3 月 3 1 日現在)

総契約者数	6 5 名	碧南市＝6 5 名
-------	-------	-----------

契約者の推移

常用 利用者	平成 22 年 4 月 1 日 時点	平成 27 年 4 月 1 日 時点	平成 31 年 4 月 1 日 時点	令和 2 年 3 月 31 日 時点	令和 3 年 3 月 31 日 時点	令和 4 年 3 月 31 日 時点
	6 2 名	6 8 名	6 7 名	6 7 名	6 7 名	6 5 名

新規契約者時期

令和 3 年度 6 月＝1 名、3 月＝1 名

退所者時期

令和 3 年度 6 月＝1 名、7 月＝1 名、1 月＝1 名、2 月＝1 名

4. 職員数（令和 4 年 3 月現在）

正職＝9 名、非常勤＝1 5 名 合計 2 4 名

5. 月間利用実績 生活介護（定員 60 名） 職員体制（5：1）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間	R2 年度
開所日数（日）	22	19	22	21	19	21	21	22	20	19	19	22	247	247
利用者数（人）	1302	1138	1351	1267	1097	1243	1257	1331	1211	1083	945	1242	14467	14926
1 日平均（人）	59.2	59.9	61.4	60.3	57.7	59.2	59.9	60.5	60.6	57.0	49.7	56.5	58.6	60.4
利用率（％）	98.6%	99.8%	102.3%	100.6%	96.2%	98.7%	99.8%	100.8%	100.9%	95.0%	82.9%	94.1%	97.6%	100.7
前年比（％）	97.0%	100.6%	99.5%	100.1%	96.8%	97.5%	98.4%	99.7%	99.3%	95.0%	83.3%	94.5%	96.9%	

月間利用実績 日中一時支援 成人プログラム（定員 70 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間	R2 年度
開所日数（日）	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	11	12
利用者数（人）	42	34	37	36	39	0	38	36	45	24	5	36	372	71
利用率（％）	60.0%	48.6%	52.9%	51.4%	55.7%	0.0%	54.3%	51.4%	64.3%	34.3%	7.1%	51.4%	44.3%	8.5%

月間利用実績 日中一時支援 児童プログラム（定員 10 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間	R2 年度
開所日数（日）	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	9	75
利用者数（人）	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	14	100
利用率（％）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.6%	13.3%

活動内容

【自主製品部門】

（紙すき）

絵手紙はがきの注文がとても多い。ゴミが製品に入ってしまうことがあるため検品を念入りにしている。パルプを作るミキサーが古くなってきて細かくできない時がある。

（名 刺）

4 月は名刺の注文がかなり多かった。納期には間に合わせることができている。

（利用者）

- ・ A さん：豊橋のグループホームに入居するため 7 月で退所された。
- ・ B さん：1 日作業所で過ごすことが難しく、週に 2 日 1 時間程作業所に来所していたが、蔓延防止等が出ている間は控えていた。解除されてからがまた来所できるようになってきた。
- ・ C さん：蒲郡のグループホームに入居するため 1 月で退所された。
- ・ D さん：糖尿病で血糖値がかなり高かったが食事制限で基準値に近づいた。10 月からは昼食を少なめから普通量に戻した。

- ・ Eさん：8月、卵巣腫瘍捻転のため碧南市民病院で緊急手術を受けた。2月、利用者とのトラブルから右手親指を骨折。しばらくギブスで固定してすごした。
- ・ Fさん：9月に後見人がついた。金銭管理は今後後見人が行うこととなり、月に1度来所して作業所での必要な金額を受け取るようになった。
- ・ Gさん：体温調節が難しく、夏場来所できないことが多かった。11月に自宅で右ひざを脱臼。治るまでサポーターを付けてすごした。
- ・ Hさん：12月深夜、グループホームで何度も血便が出た。碧南市民病院を受診し、検査をしたがはっきりとした原因は分からなかった。
- ・ Iさん：3月、白内障のレーザー手術を行った。
- ・ Jさん：12月後半から体調を崩すことが多く、口からの食事や服薬をすることが難しかったため3月に胃婁を造設した。自宅での服薬や水分摂取を確実にを行うために胃婁を使用し、作業所では今まで通り経口摂取とする。服薬がしっかりできるようになったため日中元気にすごせるようになった。
- ・ Kさん：令和2年度から腹膜透析を行っていたが年明けから体調が優れず、自宅療養していた。数日前から意識混濁状態となり、2月18日に亡くなった。

【下請け部門】

(軍 手)

コロナ禍以前と比べると手袋の量は減っているが安定していた。

(コーティングはがし、マスキングの取り付け)

上半期はコロナの影響から作業がないことも多かった。作業がない日はグループごとにホールでボールを使った運動等を行った。

下半期は比較的量が安定していた。

(ゴムのバリ取り)

9月から不定期ではあるがゴムのバリ取りの作業が始まった。業者の方が納品に来てくれている。

(利用者)

- ・ Lさん：数年前から誤嚥性肺炎を繰り返している。6月の担当者会議後から食事形態を「刻み食」から「一部とろみ食」へと変更した。7月にも誤嚥性肺炎で入院したため8月より「ミキサー食」に変更した。
- ・ Mさん：利用者や職員に対する他害が多いため10月に刈谷病院を受診。安定剤を処方され服薬を開始した。最初は体調が安定しないこともあったが、現在はだいぶ慣れてきた様子。

【ぼかし部門】

5月頃から涼しくなるまで虫が発生することが多かった。納品は順調にできていたが、コロナの影響からなかなか量が減らなかった。夏は作業場がかなり暑くなるため水分補給に注意して作業を行っている。

【農園部門】

(各公園の花の植え替え)

梅雨が長く、植え替えの時期がずれることもあったが、それ以外は順調に行えている。

(花の販売)

新型コロナウイルスの影響でイベントがなくなったが、売り上げは昨年度と変わらなかった。納品も問題なく行うことができた。

(花の育成状況)

環境や気候により種まきの時期を調整したが問題なく育っている。

(利用者・その他)

農園のカーテンが破れてしまっているため碧南市に修繕をお願いしている。

- ・ Nさん：平日はグループホームですごしているが、週末自宅に戻った時に母に手を挙げそうになることがあった。家族からの要望で週末もグループホームですごすようになった。
- ・ Oさん：毎週末、母の実家に行くことになり日中一時やショートステイに参加できなくなったことから不安定になることが多い。
- ・ Pさん：3月頃から右胸の痛みを訴え、痛がることがあった。しこりもあり検査をしたところ乳がんと診断された。

【療育部門】

買い出しや散歩に出かけたり、工作やお菓子作りをしてすごしていた。

- ・ Qさん：両目の視力がかなり低下している。かなり近づかないと人の顔も見えにくくなっている。視覚障害者手帳を取得した。今まで妹が金銭管理をしていたが9月に後見人が付いたため今後は月に1度後見人が作業所に来所し、本人にお金を渡すことになった。
- ・ Rさん：数年前から貧血で服薬をしていたが数値が安定しないため週に1回の輸血を1か月間続けた。検査をしたが貧血の原因は不明。数か月後、また数値が下がってきたため現在は鉄剤を服用している。

【厨房部門】

衛生面を強化し全員手袋・消毒を徹底している。夏が例年より暑かったため水分補給の回数を増やして対応した。今まで午前中は職員3人体制で調理をしていたが8月からは2人体制で行うようになった。

食器棚の購入と食器洗いをするためのシンクを増設した。

【屋内外活動】

(リズム体操)

ボランティアの方に来て頂き、希望者に参加してもらっていたが3年度も新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

(車いす体操)

ボランティアの方に来て頂き、車いすの方を中心に体を動かしていたが、3年度も新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

(創作活動)

新型コロナウイルスの影響ですべて各班に分かれて行った。お菓子作りや工作を行ったり、ハロウィンパーティーでは仮装もしてみんなで楽しむことができた。

(カウンセリング)

毎週木曜日に行っている。利用者の方の悩みや相談などを聞き、精神的な安定を図っている。先生と話せる事を楽しみにされている利用者が多くいた。

(マッサージ)

毎週火・木にマッサージの先生に来ていただき、希望者のみマッサージを行ってもらう。緊急事態宣言中や作業所内で新型コロナウイルスが発生したときは中断した。

(音楽療法)

月に一回行っていて利用者の方も楽しみにしているが、新型コロナウイルスの影響で一度も行えなかった。

(高齢者プログラム)

高齢の利用者の方を中心に体操やレクなどを月二回に分けて行った。新型コロナウイルスの影響で開催できないこともあった。

【生活面】

(スタッフ会議)

月1回、今後のイベントや作業所の事について、利用者からの意見などを聞いたり話し合ったりする場を設けている。新型コロナウイルスの影響で各班に分かれての会議となっている。

6. その他碧南ふれあい作業所における活動

【地区全体行事】 ガイア作業所合同避難訓練

【事業所行事】 4月 創作活動（シャーベット作り&自己紹介掲示板を作ろう）
5月 創作活動（牛乳かん・白玉のあんみつ作り）
6月 創作活動（ドリームキャッチャーを作ろう）
7月 夏祭り
8月 バーベキュー大会、創作活動（作品展：ひまわりを作ろう）
9月 創作活動（お面を作ろう）
10月 創作活動（ハロウィンパーティー）、ピクニック（班ごと）
11月 創作活動（たませんを作ろう）、ミニまつり
12月 クリスマス会&忘年会、餅つき大会、大掃除
1月 創作活動（おしろい作り）
2月 創作活動（バレンタインデーお菓子作り&スポーツをしよう）、
3月 創作活動（ホワイトデーお菓子作り&
ネイル・ボンボンヘアゴム・シュシュ作り）

【健康面】 健康診断、人間ドック、インフルエンザ予防接種

【外部交流】 安城特別支援学校実習生受け入れ、高浜高校実習の受け入れ、
日本福祉大学実習受け入れ

【日中一時支援 成人】 毎月第3土曜日に行い、碧南市在住の施設内外の方に利用して頂いている。スタッフが楽しめること、色々な体験ができるように企画を進めている。企画内容もスタッフの意見等を取り入れるようにしている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度も引き続き、作業所の利用者の方のみで行った。

企画内容・・・4月カレー作り	5月うどん作り
6月ピザ作り	7月夏の風物作り
8月焼肉パーティー	9月 中止（緊急事態宣言のため）
10月うちわ作り	11月手作りボーリング
12月クリスマス会	1月かるた作り
2月鍋作り	3月ひな祭り

【日中一時支援 児童】 今年度より長期休みのみ受け入れを行った。夏休みに数名が利用し、作業所のプログラムに参加してすごした。

7. 令和3年度の特徴

- ・昨年度に引き続き、1日3回の館内消毒と送迎車の消毒を継続している。
- ・昼食も1階と2階の作業室、食堂の3か所に分かれて摂っている。
- ・1月29日に職員の新型コロナ陽性が判明。31日を1日休所とした。
- ・2月15日に職員の新型コロナ陽性が判明。15日午後と16日を休所とした。
- ・2月19日に利用者職員数名の新型コロナ陽性が判明。3月1日まで休所とした。
- ・新型コロナの影響で行えない行事が多かったが、夏祭りやピクニック、ミニまつりを行い、利用者やご家族に楽しんでもらうことができた。
- ・ご家族が高齢や病気で体調を崩されたため、今まで通りの生活を送ることができなくなった方が数名いた。それぞれ施設入所やグループホーム入所に向け話を進めている。
- ・家庭の都合でグループホームに入居するため2名の方が退所された。
- ・作業所建物の老朽化が進み、扉や門の修繕を行った。また送迎バス1台の入れ替えを行った。

8. 事業計画に対する評価

①指定管理

- ・新型コロナウイルスの影響で利用を中止したりする利用者や事業所全体を休所する際など随時福祉課と協議を重ねて判断をした。
- ・今年度は大規模な修繕は行わなかったが、指定管理期間の令和6年度までに計画的に修繕等進められるよう協議を進めてきた。

②研修・勉強会

- ・リモートでの研修や委員会、会議がだいぶ定着してきた。オンラインで行うことにより移動などで時間を取られることなく効率よく参加できた。
- ・強度行動障害やサービス管理責任者更新研修など初めての研修に参加する職員も多かった。

③修繕・入替

- ・厨房内にエアコンを導入できないか検討したが、構造上難しいと言われたため断念した。
- ・厨房用に食器棚と冷凍庫を購入し、食堂側に洗い場を設置した。
- ・3月送迎用のバス1台を新車と入れ替えてもらった。

④非常食・防災用品

- ・非常食の在庫を確認したところ期限切れの物があったため新しいものを購入し、入れ替えた。マスクや手袋等も多めに購入し備えている。

⑤高齢プログラム

- ・握力等を測定し、数値化して比較をしようとしたがやり方を理解できない方が多く実現しなかった。コロナ禍で外出も難しかったため工作などを行い、普段よりゆっくりすごしてもらうように心がけた。利用者の方達はその時間を楽しみにしている様子だった。

9. 今後の課題

①研修・勉強会

- ・新型コロナウイルスの影響でほとんどの会議や研修がリモートとなっているが、遠方で開催されるものにも参加しやすくなったため積極的に参加するように働きかけていく。可能であれば複数の職員に研修に参加してもらい、スキルアップを目指していきたい。

②修繕・入替

- ・2台ある送迎バスのうち1台は更新したが、もう1台も老朽化しているため、入れ替えてもらえるよう協議を進めていく。施設の修繕の必要な個所は報告してあるが、至急の修繕等はその都度福祉課と話し合い、できるだけ早く対応できるようにしていく。

③非常食・防災用品

- ・非常食の消費期限、物品の確認など1年に1度は必ず確認するようにする。
- ・マスクや手袋、消毒などは新しいものを購入したら入れ替えるようにしていく。

④高齢プログラム

- ・現在50歳以上の方を対象としているが人数が多すぎるため、体力面などの不安からプログラムが必要な方を絞り込んでいく。対象者を減らし、グループ分けをしてプログラムが1人1人に浸透するようにしていく。

10. 職員研修

リモート研修で様々な研修に参加する事が可能になってきたため、できるだけ多くの現場職員に参加してもらうようにしていく。また強度行動障害支援者養成研修を正規職員は順次受けられるように参加を促していく。

令和3年度 参加職員研修一覧

実施月	内容	開催場所	参加職員
6月	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	サポートちた	生活支援員
6～8月	介護福祉士実務者研修	ふれあい作業所	生活支援員
1～2月	サービス管理責任者更新研修	ZOOM研修	サービス管理責任者
3月	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	サポートちた	生活支援員

11. 資格取得

職員の資質向上と利用者の満足度を高めるため、法人として積極的に資格取得を推進している。

令和3年度 資格取得一覧

取得資格	人数
介護福祉士実務者	3名
社会福祉士	1名
強度行動障害（基礎）	4名
サービス管理責任者（更新）	2名

令和3年度 碧南ふれあい作業所 決算について

収入の部

科目	令和3年度予算額(補正後)	収入済額	差額	備考
事業活動による収入				
障害福祉サービス等事業	114,805,000	120,125,112	▲ 5,320,112	
（自立支援給付費）	108,600,000	113,660,135	▲ 5,060,135	
（利用者給食費等）	3,705,000	3,301,700	403,300	1食あたり250円
（その他の事業）	2,500,000	3,163,277	▲ 663,277	指定管理料(¥642,480)、日中一時支援等
職員給食費、研修受入費等	1,440,000	1,403,660	36,340	1食あたり300円
その他の事業	5,500,000	5,918,192	▲ 418,192	生産活動売上
受取利息配当金	10,000	12,589	▲ 2,589	
施設整備等による収入				
施設整備等補助金	0	0	0	
設備資金借入金	0	0	0	
その他の活動による収入				
積立資金取崩	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金	6,000,000	6,000,000	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
収入合計	127,755,000	133,459,553	▲ 5,704,553	

支出の部

科目	令和3年度予算額(補正後)	支出済額	差額	備考
事業活動による支出				
人件費支出	82,500,000	77,511,847	4,988,153	
（常勤職員給与）	43,400,000	40,909,844	2,490,156	
（非常勤職員給与）	27,500,000	26,218,791	1,281,209	
（法定福利費）	10,000,000	8,834,262	1,165,738	社会保険料負担分
（退職共済掛金）	1,600,000	1,548,950	51,050	
事務費支出	10,005,000	9,128,384	876,616	
（福利厚生費）	250,000	204,000	46,000	
（事務消耗品費）	700,000	702,721	▲ 2,721	
（修繕費）	750,000	742,254	7,746	車輛修繕等
（業務委託費）	3,600,000	3,529,988	70,012	アルゴ委託費等
（保険料）	900,000	726,973	173,027	
（賃借料）	800,000	683,669	116,331	ワゴン車、食洗機等リース代等
（租税公課）	150,000	146,300	3,700	消費税
（保守料）	1,500,000	1,390,748	109,252	エレベーター、消防・電気点検等
（雑支出・その他）	1,355,000	1,001,731	353,269	旅費、冠婚葬祭、非常食代等
事業費支出	23,805,000	21,925,254	1,879,746	
（給食費）	5,900,000	5,458,943	441,057	給食材料費
（本人支給金）	6,000,000	5,552,620	447,380	利用者工賃
（水道光熱費）	4,495,000	4,384,984	110,016	電気・ガス・水道代
（消耗器具備品費）	900,000	697,144	202,856	
（教育指導費）	1,200,000	1,257,817	▲ 57,817	花苗・自主製品材料代等
（車輛費）	3,100,000	2,559,357	540,643	
（教養娯楽費）	350,000	345,463	4,537	行事準備代、新聞代等
（雑支出・その他）	1,860,000	1,668,926	191,074	利用者検診代、日用品代等
施設整備等による支出				
固定資産取得支出	320,000	225,500	94,500	
（構築物取得）	0	0	0	
（機械及び装置取得）	0	0	0	
（車輛運搬具取得）	0	0	0	
（器具及び備品取得）	320,000	225,500	94,500	
（建設仮勘定への計上による資金減少額）	0	0	0	
その他の活動による支出				
積立資産支出	7,000,000	7,000,000	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	3,000,000	3,000,000	0	本部繰入金
雑損失	0	0	0	
予備費	1,125,000	0	1,125,000	
支出合計	127,755,000	118,790,985	8,964,015	
収支差額	0	14,668,568	▲ 14,668,568	繰越金
前期末支払資金残高	0	64,067,398	▲ 64,067,398	
当期末支払資金残高	0	78,735,966	▲ 78,735,966	前期残高＋当期繰越金

令和4年度 碧南ふれあい作業所 事業計画

(1) 碧南ふれあい作業所（生活介護・日中一時支援）

開所日 平成8年7月1日（指定管理 平成22年4月1日）

建設地 碧南市中山町1-16-1

敷地 碧南市所有 1,694.7㎡

建物 1,244㎡ 鉄筋コンクリート造3階建

定員 生活介護60名（契約者数65名）／日中一時支援70名

指定番号 2313200020

職員体制

管理者	サービス管理責任者	嘱託医	支援員	看護職員	調理員	合計
1名	2名	1名	17名	3名	1名	25名

(2) 施設の理念・目標

「安心・安全にすごせる場所」

「毎日ほんの少しの変化を感じられるように目標を持ってすごしていただく」

- ・生活介護 利用者も職員も個別支援計画を意識した支援を行い、やりがいを増やす
- ・日中一時支援 月に1度の楽しみとして日常とは違う1日を提供する

(3) 昨年度計画の課題

・生活介護

○1人1人の個別支援目標を意識してもらうために各班にその班の利用者の目標一覧を置き、いつでも確認できるようにした。少しずつではあるが非常勤職員も意識できるようになってきている。

また目標に対してどれぐらい支援が行えたかを分かりやすくするために、毎日の記録を達成率が出るものに変更した。いままで試作段階だったため4月から本格的に取り入れていく。

○音楽療法・リズム体操・車椅子体操は外部の先生を主として行っているため今年度も行うことができなかった。が、11月に行ったミニまつりや12月

のクリスマス会では演奏家の方達をお招きしてみんなに楽しんでもらうことができた。

○年に2回の草取り等の環境整備は春は全体で行うことができたが、秋は全体としては行えなかった。

○介護を受ける側の思いを感じる研修は行えていないため来年度に実施する。

・日中一時支援

今年度は作業所の方に限定して作業所内で工作や調理を行ってきた。利用者の方は特に調理して食べることを楽しみにされているが、コロナ禍のため大人数で作って一緒に食べることには疑問の声が上がることもあった。

また外出なしの企画としたためパターン化してしまうことが多かった。

(4) 令和4年度の計画

・生活介護（定員60名）

○昨年度に引き続き、各班に目標一覧を置き職員がいつでも確認できるようにする。またアイパッドの使用を職員に習慣づけて随時確認できるようにする。

○パソコンを触ってみたいという利用者の方用に職員用とは別のタブレットを用意し、休憩時間に利用したり、知育アプリなどを入れて個別支援と結び付けられるようにしていく。

○作業以外のプログラムはコロナ次第にはなってしまうため外部の先生を頼らずにできることを増やしたい。できるだけ行事は減らさず、グループ分けや感染症対策をしっかりと行っていく。コロナが落ち着いたら地域の幼稚園や老人施設との交流会も行っていきたい。また希望があればご家族に作業所に来て頂き、利用者の方と1日すごす日を設けたい。利用者の方が普段行っている作業を体験して頂いたり、昼食を一緒に摂ったりして日中の様子をご家族が見る機会を設けたい。

○昨年度、行えなかった介護を受ける側の思いを体験する場を設け、車椅子体験や入浴体験を行う。

○今年度より虐待防止委員会の設置が義務付けられるため全職員に周知を行い、再度虐待や権利擁護について考える機会を設けたい。

- ・日中一時支援事業（70名）

コロナの状況次第ではあるが、今年度も作業所の利用者に限定して行う予定。昨年度は館内ですごすことに限定したためマンネリ化してしまった。今年度は状況が落ち着いている時であれば、外出できるような企画を考えていきたい。

（5）長期計画

- ・生活介護

○利用者の高齢化が進んでいるため療育班の拡充もしくは高齢の方向けの班が必要になってくる。指先を使ったり身体を動かす内容を取り入れ、ゆったりとすごせる時間を増やす。

また、中庭で家庭菜園ができるように土地を整備し班での作業がない時などに行えるようにする。いずれはみんなで育てた野菜を給食として食べられるようにしていきたい。

○利用者の高齢化と共にご家族も高齢となってきた。ご家族が高齢で一緒に暮らすことが難しいケースも増えてきているため、緊急時の受け入れ先を検討するようにご家族には伝えていく。必要に応じて介護保険サービスに繋がられるように相談支援を中心に体制を整えていく。

- ・日中一時支援

大人数が同じ内容で楽しむのは難しいため参加される利用者の年齢や体力に合わせて内容を変えていく。可能であれば2コース作って選択できるようにする。また、アンケートなどでどのようなことをやりたいか希望をとれるようにしていきたい。

（6）年間スケジュール（新型コロナウイルスの状況を鑑みて開催を決定します）

時 期	内 容	場 所
4 月	新通所者歓迎式&お花見	あいくる
7 月	流しそうめん大会	ふれあい作業所
7 月	ふれあいキャンペーン	ふれあい作業所
7 月	元気ッス！へきなん	碧南市役所前
8 月	バーベキュー大会	ふれあい作業所

9 月	合同地震津波避難訓練	ふれあい作業所
1 0 月	社会見学	未 定
1 0 月	男性・女性宿泊会	ふれあい福祉園ガイア
1 0 月	ハロウィンパーティ	ふれあい作業所
1 1 月	ふれあいまつり	ふれあい作業所
1 2 月	もちつき大会	ふれあい作業所
1 2 月	クリスマス&忘年会	ふれあい作業所
1 2 月	きらきらウォーク	碧南市役所付近
1 月	新成人を祝う会	あいくる
2 月	創作活動(バレンタインチョコ作り)	ふれあい作業所
3 月	創作活動(ホワイトデーお菓子作り)	ふれあい作業所

(7) 職員研修計画

・一般職員

- 権利擁護委員、研修委員、I T 研修、労務改善委員等
- 法人全体研修（研修委員会 全員） 年 1 回
- サービス管理責任者講習（随時）
- 強度行動障害研修（随時）

・リーダー

- 志賀道場（キャリアパス研修） 隔月 1 回
- サービス管理責任者更新研修 該当者・随時
- 経理研修（法人本部・主任 管理者） 毎月第 1 金曜日
- 施設長研修（全社協・管理者） 年 1 回

令和4年度 碧南ふれあい作業所 予算について

収入の部

科目	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	差額	備考
事業活動による収入				
障害福祉サービス等事業	121,645,000	112,645,000	9,000,000	
（自立支援給付費）	114,005,000	105,005,000	9,000,000	
（利用者給食費）	3,700,000	3,700,000	0	1食あたり250円
（職員給食費等）	1,440,000	1,440,000	0	1食あたり300円
（その他の事業）	2,500,000	2,500,000	0	指定管理料(¥1,000,000)、日中一時支援等
その他の事業	5,500,000	5,500,000	0	生産活動売上
受取利息配当金	10,000	10,000	0	
施設整備等による収入				
施設整備等補助金	0	0	0	
設備資金借入金	0	0	0	
その他の活動による収入				
積立資金取崩	0	0	0	
拠点区分間長期借入金	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
収入合計	127,155,000	118,155,000	9,000,000	

支出の部

科目	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	差額	備考
事業活動による支出				
人件費支出	89,400,000	82,000,000	7,400,000	
（常勤職員給与）	45,000,000	46,000,000	▲ 1,000,000	
（非常勤職員給与）	31,000,000	25,000,000	6,000,000	
（法定福利費）	11,900,000	9,000,000	2,900,000	社会保険料負担分
（退職共済掛金）	1,500,000	2,000,000	▲ 500,000	
事務費支出	10,410,000	10,405,000	5,000	
（福利厚生費）	250,000	250,000	0	
（事務消耗品費）	1,000,000	1,000,000	0	
（修繕費）	750,000	750,000	0	車輜修繕等
（業務委託費）	3,600,000	3,600,000	0	アルゴ委託費等
（保険料）	1,100,000	1,100,000	0	
（賃借料）	800,000	800,000	0	
（租税公課）	150,000	150,000	0	消費税
（保守料）	1,400,000	1,400,000	0	
（雑支出・その他）	1,360,000	1,355,000	5,000	
事業費支出	22,605,000	21,305,000	1,300,000	
（給食費）	5,400,000	5,400,000	0	給食材料費
（本人支給金）	6,000,000	6,000,000	0	利用者工賃
（水道光熱費）	4,500,000	3,700,000	800,000	電気・ガス・水道代
（消耗器具備品費）	800,000	800,000	0	
（教育指導費）	1,200,000	1,200,000	0	
（車輜費）	3,000,000	2,500,000	500,000	
（教養娯楽費）	350,000	350,000	0	
（雑支出・その他）	1,355,000	1,355,000	0	
施設整備等による支出				
固定資産取得支出	350,000	320,000	30,000	
（構築物取得）	0	0	0	
（機械及び装置取得）	350,000	320,000	30,000	
（車輜運搬具取得）	0	0	0	
（建設仮勘定への計上による資金減少額）	0	0	0	
その他の活動による支出				
積立資産支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	3,000,000	3,000,000	0	本部繰入金
予備費による支出				
予備費支出	1,390,000	1,125,000	265,000	
支出合計	127,155,000	118,155,000	9,000,000	
収支差額	0	0	0	

碧南ふれあい作業所 事業所紹介

日中の活動について

ふれあい作業所では療育・身体・精神の手帳を持っている方を対象に様々な作業や行事を行っています。作業は自主製品班・農園班・下請け班・ステップ班の4つに分かれ、それぞれのスケジュールに沿って毎日活動をしています。作業内容は様々で利用者の方1人1人に合ったものを提案できるように心がけています。

ご本人・家族の方とは年度末に面談を行い、次年度の目標を立てています。目標は本人主体の目標を立て、本人のやる気を引き出すような支援をしています。

新型コロナウイルスの影響でイベントや外出企画、外部の方を招いての体操などが今までのように行えなくなりましたが、工夫をして少しでも利用者の方に楽しんでもらえるような企画を考えています。

【自主製品班】所属人数 21名

活動内容 紙すき製品、名刺印刷、アクリルたわし、編みぐるみ 等

●特 徴●

作業所では葉書・色紙・封筒・名刺などの紙すき製品をすべて牛乳パックを再利用して作っています。作業所の紙すきはとても評判がよく、全国から注文を頂いています。紙すきは作業工程も多く、天候などによっても左右されてしまうため大量生産はできませんが、1つ1つ丁寧に作っています。

紙すき以外にもアクリルたわしや編みぐるみなどを作って販売しています。特に編みぐるみは好評で注文もたくさんいただいています。

【下請班】 所属人数 21名

活動内容 自動車部品の加工、手袋の成型・袋詰め 等

●特 徴●

下請け班では自動車部品の加工や、手袋の成型作業を行っています。

利用者の方は職員以上に作業に慣れているため量が多くても納品までにきちんと作業をおえることができます。

工場から作業を頂いているため社会情勢に左右されやすく、作業がない日もあります。そのような時は散歩や知育遊びなどを取り入れてのんびりと過ごしています。

【農園班】 所属人数 16名

活動内容 花苗栽培、市内花壇植替え、アルミ缶リサイクル、EM ボカシ 等

●特 徴●

農園班は、花苗を種から栽培して販売したり、市内の公園や公的機関などの花壇の管理や植え替えなどを行っています。花が好きな利用者の方が多いためみんなで大事に花を育てています。

農園は屋外での作業が中心のため利用者の方の健康管理には十分配慮しながら活動しています。特に真夏は屋外での作業をできるだけ減らし、水遊びや室内で工作などをして過ごすようにしています。

【ステップ班】 所属人数 4名

活動内容 工作、外出、各班の作業補助 等

●特 徴●

ステップ班は、毎日作業に取り組むことが難しい方達が知育遊びや工作・調理実習を行ったり、散歩に出かけたりして過ごしています。療育的な活動が中心ですが、作業を行うこともありメリハリのある生活ができるようにしています。また他の班の方でも毎日作業をするのが難しい方は曜日を決めてステップ班でゆったり過ごすこともあります。

スタッフ会議について

毎月1回、利用者と職員が集まり作業所のことについて話し合いをしています。行事について話し合うことがほとんどですが、利用者の方の意見や希望を聞くいい機会にもなっています。特に創作活動で何を作りたいか、式典やイベントでの役割を決める時などはみんな積極的に発言をしてくれています。自分達の意見が反映されることによってやりがいやいい施設作りに繋がっていくと考えています。

厨房について

作業所の利用者数名が厨房内の洗い物や調理補助を行っています。同法人の就労系事業所「ふれあい工房アルゴ」からも利用者の方が来られ、盛り付けや配膳、翌日の仕込みを手伝っています。

また包丁を使つての調理や味付けも利用者の方に行ってもらい、本人のやる気を高められるような支援をしています。

厨房に入るといふことで衛生面には十分気を付けており、手洗いや消毒は特に徹底して行っています。